

杏林堂 × エネジン CNLPガスの供給協定

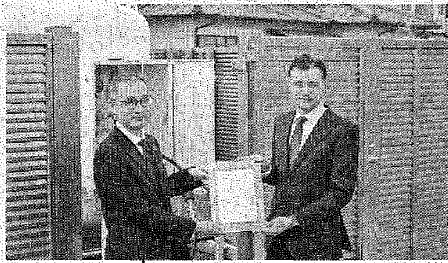
地域NEWS

杏林堂と供給協定

エネジン

CNLPガス
取扱開始

エネジン（浜松市中央区、藤田源右衛門社長）は、2月よりカーボンニュートラルLPガス（CNLPガス）の取り扱いを開始した。4月17日には供給先第1号となる杏林堂薬局（浜松市中央区、小河路直孝社長）との供給協定式を行った。同社は民間セクターが



主導する「ボランタリークレジット」により、排出するCO₂を相殺するCNLPガスを提供するため、設備投資が必要なく、環境保全に貢献できるため、地域の持続可能性を高めるとして注目される。

100トンのカーボンクレジットを販売し、杏林堂薬局がそのうち10トンを購入、これにより33トンのCO₂排出を相殺できる。

小河路社長は「SDGsの推進に向け、自らの活動と、周囲のおのずからの活動を引き出す、両方を大事にしたい」とあいさつ。藤田社長は「協力に感謝する。今後CNLPガスの取り組みをさらに広げていきたい」と述べた。

藤田社長（左）が小河路社長と協定書を交わした



株式会社杏林堂薬局とエネジン株式会社が、カーボンニュートラルLPガスの供給協定を結びました。

採掘から燃焼に至るまでの工程で発生するCO₂を、国際NGO団体が認証したカーボンクレジットとオフセットすることにより、CO₂排出量を実質ゼロに！

今後もSDGsの達成に貢献していく取組みを広げていきます。

令和6年(2024年)4月22日(月) 建通新聞

